

本校は、沖縄本島南部のウミンチュ(漁師)の街、糸満市西崎町に昭和63年4月12日、当時大規模校であった島尻養護学校から分離する形で開校いたしました。その後、平成21年4月1日に「沖縄県立西崎養護学校」から現在の「沖縄県立西崎特別支援学校」と校名変更があり、今年で創立30年目を迎えています。その間、島尻地区・糸満地域等の知的障害教育の中心として幼稚部・小学部・中学部・高等部に至る一貫した教育実践に努めています。今年度は、幼児児童生徒189名、職員117名による知的障害に対応した特別支援学校です。

本校は「自立し社会参加できる資質を養うために、一人一人の実態に応じた適切な教育を行い、自らの生活を豊かにするための基礎的な知識、技能、態度及び習慣を養い、明るく、たくましく生きる幼児・児童・生徒を育成する」という教育目標を掲げ、子どもの健やかな成長・発達に寄与するべく、個々の教育的ニーズに応じた様々な教育活動を展開しております。その目標の達成に向けて「子どもの主体性を育む」「子どもの考える活動の重視」「生活上・学習上の基礎・基本」を教育の柱に据えています。そして、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程を編成し、幼稚部・小学部・中学部・高等部、といったそれぞれの学部で教育実践を展開しているところです。

キャッチフレーズ[花と緑と笑顔あふれる西崎特別支援]と[元気に登校、笑顔で帰宅(下校)]をモットーとし、『学校の主人公は一人ひとりの子ども達』を合い言葉に全幼児・児童・生徒一人ひとりの個性や能力を十分に伸ばし、健やかな成長のため全教職員が心をひとつにして全力で取り組む決意であります。また、教職員・子ども・保護者の「三者による学校の協創」という、学校経営の基本的な考え方にに基づき、子どもの成長に関する情報や目標等の共有、学校と家庭の役割分担を踏まえた取組、さらに関係諸機関との連携など支援体制をより強固なものにするよう努めております。

このように学校と家庭、そして地域(諸機関等)との連携を深め、子どもたちの「今」及び「将来」のよりよい生活すなわちQOLの向上が実現できる学校を目指して取り組んでまいります。本ホームページを閲覧された皆様におかれましては、本校の教育活動のさらなる充実に向けて御指導・ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

幼児児童生徒のみなさん「きれいに咲こうよ！」

全教職員のみなさん「きれいに咲かそうよ！」

沖縄県立西崎特別支援学校

校長 喜久山 強